

質問 近年、自転車による事故が問題となっている。27年6月には道路交通法が改正され、自転車の運転についても取り締まりが強化され、悪質・危険な運転者には安全講習の受講が義務付けられた。自転車の安全な利用を推進する取り組みを行うべきと考える。町長、教育長の所見を伺う。

町長 町では福生警察署、交通安全推進協議会と連携し、イベントなどで法改正についてもPRを拡充して行く。地域ごとの講習会についても、協議しながら実施していきたい。自転車ナビマークは、すでに設置された路線もあり、今後も推進していく。また小・中学校で、交通安全教室を実施しているが、その

際、小学生には自転車運転免許証を発行している。今後、交通事故のない安全なまちづくりを地域でも取り組んでいけるよう推進する。

下野 義子 議員（公明党）

自転車の安全な利用を推進する取り組みを



町長 PRを拡充していく



自転車ナビマークが設置された道路（箱根ヶ崎東松原）

こんな質問もありました
小中一貫校（義務教育学校）に対する町の考えは
教育長 小中一貫教育の導入は、現在考えていない。



小川 龍美 議員（公明党）

都道166号瑞穂都営アパート
交差点に信号機の設置を

町長 設置に向けて粘り強く取り組んでいく

質問 瑞穂都営アパートは中央を都道166号（福生街道）が横断しており、朝夕は交通量が非常に多い。むさしの保育園前の交差点には歩道橋が設置されているが、信号機や横断歩道はない。都営アパートは高齢化が進み、また交差点近くには障がい者用住宅もあるため、高齢者や障がい者、車いす利用者は横断に大変苦慮している。住民が安全で安心して生活できるように、交差点に信号機と横断歩道を設置すべきと考えるが、町長の所見を伺う。

町長 通称福生街道には、横断歩道もしくは信号機を設置するよう福生警察署に再三申し入れをしている。しかし、武蔵野駐在所前信号機との距離、交通渋滞の発生などを理由に実現には至っていない。道の徒歩横断が危険であることを周知しながら、設置に向けて粘り強く取り組んでいく。



むさしの保育園前の交差点

こんな質問もありました
ロタウイルスワクチン接種に公費助成を
町長 原資を確保できる見通しの立った段階で助成を検討したい。
防災行政無線の電話応答サービス番号シールの配布を
町長 高齢者や障がい者の方々に優先的に配布したい。



大坪 国広 議員（日本共産党）

第四小学校地区に
児童館建設を再度問う

町長 新たな児童館建設は困難である

質問 児童館は、児童福祉法で子どもたちの遊び場と学習の場、仲間づくり、交流の場として児童の成長に欠くことのできない施設として設置された。24年第1回定例会では、「地域保健福祉審議会の意見も聞き必要性を見極めていく」との答弁であった。現在町では、「施設確保ではなく、機能確保に重点を置きたい」との方向がある。しかし、施設があっても機能確保ができ、内容が充実すると考えるが町長の所見を伺う。

時点では困難であると答えている。高齢化率が高まることで、公共施設の統廃合の中で、医療、介護、福祉など、社会保障費の増加に対応せざるを得ない。既存の公共施設

の更新や大規模改修の時期が到来する中で、公共施設の統廃合による施設運営も考えなくてはならない。今後も常に時代に則した行政運営を展開していく。

町長 児童館については、6月定例会では、財源確保、効率性、事業の優先順位、将来予測、経営の観点から、新たな児童館建設は現



石畑地区にある「あすなろ児童館」



原 成兆 議員（自民新政会）

今後の予算編成は

町長 長期的な視点で予算編成に取り組む

町長 終了年度が近づいているため、成果の検証に基づいた事業の整理と課題の整理を各担当に指示している。



行政評価ヒアリングの様子

質問 大企業の業績は大幅に改善されているが、町内に数多くある中小零細企業また個人にとっては景気回復の実感はない。こうした経済状況下で、町では都市基盤整備事業等多くの課題が山積している。そこで今後の予算編成について、次の5点を町長に伺う。

問① みずほきらめき回廊事業の進め方は。町長 「さやま花多来里の郷」は27年度の完成を目指す。狭山池上流部整備は地域住民や地権者、都の関係部署と協議し具体化案の提示につなげたい。ルート整備も既存道路の特殊カラー舗装や案内サインの設置を計画的に進める。

問② 再編交付金を活用した事業の今後は。町長 終了年度が近づいているため、成果の検証に基づいた事業の整理と課題の整理を各担当に指示している。

問③ 下水道事業未整備地区解消の時期は。町長 31年度までの予定。

問④ 女性職員プロジェクトチーム調査結果の反映は。町長 女性職員の係長・管理職試験の受験も増えている。

問⑤ 新庁舎建設は。町長 現在、国、都および各種団体などの補助金の活用を検討している。長期的な視点で予算編成に取り組む。